

事業名称
一般廃棄物処理事業

目的	一般廃棄物の適正な処理	対象	豊後大野市民 臼杵市(野津町)市民
事業概要	○一般廃棄物処理事業 ・豊後大野市内及び臼杵市野津町より収集し搬入されたし尿、浄化槽汚泥は薬品処理し脱水、膜分離や活性炭ろ過し処理水は河川に放流。脱水汚泥は乾燥し生ごみと混合、発酵槽にて発酵させて堆肥とする。 処理能力:80KIL（し尿27kL／日、浄化槽汚泥53KL／日、生ごみ1t／日） 平成24年度の処理量 し尿:3,997KL、 浄化槽汚泥:18,635KL、 生ごみ11,080kg、 河川放流量27,232m³ 23年度堆肥残5,325kg（355袋） 24年度 堆肥作成量208,320kg（13,888袋） 堆肥搬出量209,145kg（13,943袋） 24年度堆肥残4,500kg（300袋） ・主な経費 - 需用費 修繕料 膜分離装置膜交換・他工事、ポンプ整備 - 医薬材料費 硫酸バンド他7品目		

89

2. 指標設定

成果指標	指標名		適正な処理		目標年度	H25	指標の設定理由						
	数値		—				機器の整備、変更が必要である。						
活動指標	指標	a	施設維持管理の適正化			b	施設の基幹改良		c	外部委託の検討		d	
	数値	目標	経費の削減(A重油)			目標	処理方式及び機器設備の改良・変更		目標	機器等整備の委託検討		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
適正な処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
a	施設維持管理の適正化	238,000 円	188,000 円	182,000 円
b	施設の基幹改良	—	—	—
c	外部委託の検討	—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
膜分離装置の膜交換費用が高い。
対応（改善点等）
設備の変更計画

5. 事業費・・・H 2 2～H 2 4（決算額）、H 2 5（予算現額）

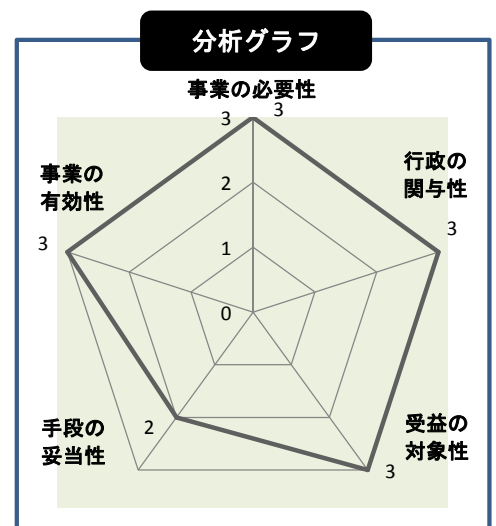
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
うち経常経費		138,335	137,226	143,824	147,087
財源内訳	国 費				
	県 費				
	市 債				
	そ の 他	23,573	22,301	24,843	25,298
	一般財源	114,762	114,925	118,981	121,789
うち経常		114,762	114,925	118,981	121,789
事業費に係る人件費		19,709	19,350	19,322	19,615
事業費に係る人役		4.50	4.50	4.50	4.50

6. H 2 6 年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
処理施設の中核である、中央制御室機器類の更新（すべて連動制御であるためセンサー等の交換も含む）

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 一般廃棄物は、関係市町村が処理しなければならない。（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 処理施設は市内で一であることから必要である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 民間導入など検討の余地がある。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 施設の運転変更し、燃料費については成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	長期にわたり利用する施設である為、施設の性能を維持することに必要な整備を、適切な手段、費用で実施することにより、トータル的な経費節減につなげること。